

財団法人石川文化事業財団お茶の水図書館
平成二十四年度 展示会

『主婦の友』の暮らしのメッセージ



「新型の合着用通学服23種（其一）」 岡本帰一 1929年3月号



「冬日和」 田村孝之介 1951年2月号



「初釜」 梶原緋佐子 1953年1月号

2012年

12月13日(木) - 16日(日)

10:00 - 16:30 (入館は16:00まで)

お茶の水図書館 9階

(東京都千代田区神田駿河台2-9)

入場無料

昭和の暮らしのメッセージ

『主婦の友』の口絵原画展

「口絵」という言葉をご存知ですか。口絵とは、本や雑誌などの巻頭を飾る絵や写真のことを言います。日本が貧しいながらも心豊かに過ごしていた昭和の前半。当時の雑誌の口絵からは、なつかしい暮らしぶりをうかがい知ることができるだけでなく、今を生きる私たちに語りかける大切なメッセージが聞こえてきます。当館は、『主婦の友』に掲載された表紙絵・口絵の原画を多数所蔵しています。この展示会では、大正から昭和30年代までの『主婦の友』に掲載された約60点の口絵原画を初公開いたします。

■財団法人石川文化事業財団

(財)石川文化事業財団は、主婦の友社の創業者・石川武美（いしかわ・たけよし）によって、昭和16年9月に設立されました。石川武美は、出版事業とともに、女性の向上と家庭の幸福を願う理念から、昭和22年12月、女性専用の私立図書館であるお茶の水図書館を設立しました。

現在、当館は専門図書館として、専門図書館部門と古典籍・古文書部門の2部門から成っています。

■お茶の水図書館

○専門図書館部門

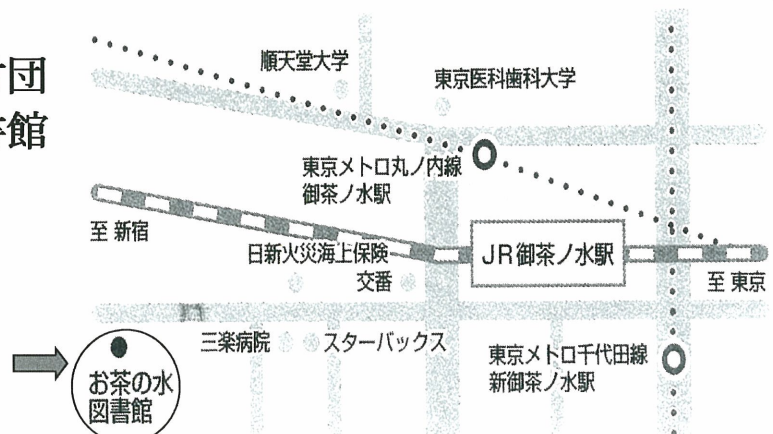
- ・「女性・生活・実用」をテーマとするこの部門では、近現代の日本の女性雑誌を蔵書の核として、これらの雑誌と関連図書を積極的に収集・保存し、利用に供しています。
- ・和洋雑誌約8万冊とともに、上記のテーマに関する図書を約2万冊所蔵しています。
- ・『主婦の友』は大正6年3月号の創刊以降、すべての巻号を所蔵し、国内・海外の研究者に利用されています。

○古典籍・古文書部門

- ・約7万点冊の成笈堂（せいきどう）文庫と約2千冊の竹柏園（ちくはくえん）本の資料群を所蔵しています。
- ・成笈堂文庫は、徳富蘇峰が収集した古典籍・古文書的一大コレクションです。
- ・竹柏園本は、佐佐木信綱が所蔵していた万葉集関係の貴重書です。

財団法人石川文化事業財団 お茶の水図書館

〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台2-9
TEL.03-3294-2266
<http://www.ochato.or.jp/>



※駐車場はありませんので、公共の交通機関等をご利用ください。